

### 3. 日本の進路を変えた満州事変



国民政府は中国の統一を進め、日本が中国に持つ**利権**を取り戻す運動をしていた。

- ・南満州鉄道
  - ・遼東半島にある租借地
- (**国権回収運動**)

日本はこの運動が満州に及ばないように、中国から満州を切り離そうとしていました。



**「満州は日本の生命線である」**

日本の  
權益を  
守れ!!

軍部は協調外交を行う浜口内閣を非難した。

日本軍の考え...

- ・ 将来起こるであろう総力戦（アメリカとの戦い）に備え、満州の鉄、石炭などの資源を確保したい。
- ・ ソ連が力をつける前に、対ソ戦に備え、拠点になるであろう満州を確保したい。
- ・ 朝鮮半島と接する満州を手に入れ、朝鮮半島を統治しやすくしたい。
- ・ 日本国内で増えすぎた人口を満州へ移民させたい。

中国人  
いさめ始めた  
満州事変

(1931)年、満州にある柳条湖近くでの(**満州金鉄道**)火爆破事件がこの発端でした。

いわゆる(**柳条湖事件**)といわれるもので、この頃に満州にいた関東軍は、この事件の犯人を中国軍だとでっちあげました。